

「銚子市水道事業経営戦略」を策定しました

計画期間 10年間

2019年度（令和元年度）から
2028年度（令和10年度）まで

近年の水道事業を取り巻く全国的な問題として、人口減少等による料金収入の減少や、高度経済成長期に大量に建設した施設や配水管などの老朽化による更新等費用の確保などが議論される中、本市の水道事業も同様の課題を抱えています。

このような状況から、今後も安心・安全な水道水を提供していくために必要な将来の事業の見通しや、その事業運営に必要な収入をどのように確保するかなどを検討した「銚子市水道事業経営戦略」を策定しました。

今後も経費の節減やサービスの向上に努め、より効率的で健全な事業運営を行い、市民の皆さんに安心・安全な水道水を安定的に供給できるよう取り組んでいきます。

経営戦略は、水道局で閲覧できるほか、水道局ホームページでご覧いただけます。

Q

配水管などの更新をしないとどうなるの？

A

地中に埋まっている管は、老朽化が進むと亀裂が生じ、破裂してしまうこともあります。場合によっては、断水により市民の皆さんの生活に大きな影響を及ぼすことになります。

配水管に限らず銚子市の水道施設は老朽化が進んでいるため、修繕などの適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、今後の人口減少による水需要の減少を見込んだ適切な施設規模となるよう、更新費用を抑えながら効率的に更新していきます。

Q

水道料金は
どうなるの？

A

今後見込まれる給水収益の減少や老朽化の進んだ施設や管路の更新に係る費用の増大などの要因により、近い将来に収支の悪化が見込まれる結果となりましたが、経営戦略での検討はあくまでも予測数値です。今後、毎年の決算数値をもとに再検討し、料金改定の時期を見極めていきます。

水道事業運営審議会委員を委嘱

平成30年11月14日、左記の皆さんに水道事業運営審議会委員を委嘱しました。

この審議会は、銚子市水道事業の運営に関する事項について調査及び審議していただくために設置されたもので、知識経験者ならびに水道使用者の皆さんから幅広く意見をお聞きする市長の諮問機関です。市長からの委嘱状交付ののち、会議を開催し、互選により正・副会長を選任しました。

会長 向後 克治（銚子市町内会連合協議会）

副会長 椎名 栄作（日本水道協会）

委員 石毛 英幸（逆川水利組合）

委員 岩松 幸明（水資源機構）

委員 大網 弘之（東総広域水道企業団）

委員 加瀬 登志子（ちばみどり農業協同組合）

委員 高安 昌弘（銚子商工会議所）

委員 古田 博之（銚子生魚商業協同組合）

委員 森 はるみ（銚子管工事協同組合）

委員 山口 貴子（銚子市漁業協同組合）

（敬称略）